2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月６日

上場会社名　株式会社トレードワークス　　上場取引所　東
コード番号　3997　ＵＲＬ　https://www.tworks.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）齋藤　正勝
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　財務経理部長　（氏名）高波　裕二　ＴＥＬ　03-6230-8900

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,334	22.3	230	96.3	229	96.2	122	130.7
2025年12月期第３四半期	3,543	11.7	117	－	117	－	53	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　115百万円（116.5%）　2025年12月期第３四半期　53百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	3.04	－
2025年12月期第３四半期	1.40	1.40

（注）１．当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき10株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。
２．2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,016	2,578	64.1
2025年12月期	4,015	1,873	46.3

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,573百万円　2025年12月期　1,859百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	2.00	2.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	15.8	300	15.5	300	16.1	140	146.1	3.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：有
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	41,042,000株	2025年12月期	39,042,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	515,250株	2025年12月期	12,750株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	40,415,258株	2025年12月期３Ｑ	37,975,616株

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔにて2026年11月６日（金）に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。また、当社は同日、機関投資家・アナリスト向け（会場及びオンライン）の決算説明会を開催いたします。この説明会の動画については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書 …… 4
四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（会計上の見積りの変更） …… 6
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における我が国経済は、緩やかな回復基調で推移しました。2026年４－６月期の実質GDPは前期比増と３四半期連続のプラス成長となりましたが、これは輸入の減少を主因とする外需（純輸出）の押し上げによるもので、個人消費は横ばい、設備投資は２四半期連続で減少するなど、内需は力強さを欠く状況でありました。一方、大企業製造業の業況が６四半期連続で改善し約８年半ぶりの高水準となり、2026年度の設備投資計画も全規模・全産業で前年度比増となるなど、AI関連需要を背景に企業収益や設備投資は底堅く推移しました。他方、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇や円安を背景に物価上振れリスクが意識され、日本銀行は2026年６月に続き９月にも政策金利を1.25%程度へ引き上げるなど、金融政策の正常化が進んでいます。先行きについては、中東情勢や原材料価格の動向、金利上昇が企業活動及び個人消費に与える影響に引き続き注意が必要な状況です。

当社が事業を展開する金融ITシステム領域では、引き続き需要拡大が続いています。生成AIに加え、自律的に業務を遂行するAIエージェントの金融分野での活用が実証・実装の段階に入りつつあります。金融庁は、顧客向け金融業務に特化したAIエージェントについて、約100の金融機関が参加する実証実験を実施する方針を示しており、2026年９月30日にはAI時代を見据えたオンチェーン金融に関するフォーラムを開催し、AIの浸透に応じた市場・金融機関の監督の在り方などの検討を進めています。こうした官民の動きを背景に、金融機関のシステム刷新・高度化に向けた投資意欲は業界全体で引き続き旺盛です。

こうした環境のもと、当社グループは、証券・FX会社向けのインターネット取引システムを中核とする既存事業において、既存顧客からの追加受注の拡大等により増収となり、売上総利益の増加により大幅な増益となりました。また、2027年からの新中期経営計画を見据え、セキュリティ、AI及び取引の証跡の分野への費用の投下を期中を通じて進めております。

以上の結果、売上高4,334,000千円（前年同期比22.3%増）、営業利益230,241千円（前年同期比96.3%増）、経常利益229,856千円（前年同期比96.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益122,828千円（前年同期比130.7%増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は2,088,354千円となり、前連結会計年度末に比べ37,520千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が減少した一方、売掛金及び契約資産が増加したことによるものであります。固定資産は1,927,837千円となり、前連結会計年度末に比べ36,853千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,016,192千円となり、前連結会計年度末に比べ667千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は859,596千円となり、前連結会計年度末に比べ531,488千円減少いたしました。これは主に短期借入金が減少したことによるものであります。固定負債は577,623千円となり、前連結会計年度末に比べ173,534千円減少いたしました。これは主に長期借入金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,437,219千円となり、前連結会計年度末に比べ705,023千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,578,973千円となり、前連結会計年度末に比べ705,690千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加及び第三者割当による新株式発行により資本金及び資本剰余金が増加した一方で、自己株式の取得により自己株式が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.1%（前連結会計年度末は46.3%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年２月12日に公表いたしました予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年11月６日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,074	856,354
売掛金及び契約資産	814,308	964,599
仕掛品	212,384	180,978
その他	71,732	106,675
貸倒引当金	△20,666	△20,253
流動資産合計	2,050,833	2,088,354
固定資産		
有形固定資産	391,558	357,218
無形固定資産		
のれん	305,983	251,608
ソフトウエア	330,205	462,794
ソフトウエア仮勘定	211,316	132,513
その他	153	153
無形固定資産合計	847,658	847,070
投資その他の資産		
投資有価証券	455,871	442,759
敷金及び保証金	171,533	172,507
繰延税金資産	66,863	59,216
ゴルフ会員権	－	11,000
その他	31,206	38,065
投資その他の資産合計	725,474	723,549
固定資産合計	1,964,691	1,927,837
資産合計	4,015,525	4,016,192
負債の部		
流動負債		
買掛金	190,364	253,808
短期借入金	530,000	30,000
１年内返済予定の長期借入金	169,992	169,992
未払金	95,558	130,101
未払法人税等	104,639	54,508
前受金	126,264	27,433
賞与引当金	31,259	50,167
受注損失引当金	5,041	2,494
株主優待引当金	－	2,479
その他	137,963	138,610
流動負債合計	1,391,084	859,596
固定負債		
長期借入金	380,028	252,534
退職給付に係る負債	156,321	146,257
その他	214,808	178,831
固定負債合計	751,158	577,623
負債合計	2,142,242	1,437,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	582,253	1,011,253
資本剰余金	618,836	1,050,109
利益剰余金	659,226	703,996
自己株式	△572	△192,352
株主資本合計	1,859,744	2,573,006
非支配株主持分	13,538	5,966
純資産合計	1,873,283	2,578,973
負債純資産合計	4,015,525	4,016,192

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,543,253	4,334,000
売上原価	2,713,753	3,281,402
売上総利益	829,500	1,052,597
販売費及び一般管理費	712,193	822,356
営業利益	117,306	230,241
営業外収益		
受取利息	1,070	2,482
受取家賃	418	418
受取保険料	10,915	－
役員報酬返納額	－	1,350
解約返戻金	－	1,375
その他	1,499	750
営業外収益合計	13,904	6,376
営業外費用		
支払利息	7,200	6,170
持分法による投資損失	6,794	－
為替差損	－	3
その他	76	587
営業外費用合計	14,071	6,761
経常利益	117,139	229,856
特別利益		
固定資産受贈益	－	38,865
特別利益合計	－	38,865
特別損失		
投資有価証券評価損	－	3,110
投資有価証券売却損	－	54,583
損害賠償金	10,915	－
特別損失合計	10,915	57,694
税金等調整前四半期純利益	106,224	211,027
法人税、住民税及び事業税	51,347	88,124
法人税等調整額	1,628	7,646
法人税等合計	52,976	95,771
四半期純利益	53,247	115,256
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	－	△7,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,247	122,828

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	53,247	115,256
四半期包括利益	53,247	115,256
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,247	122,828
非支配株主に係る四半期包括利益	－	△7,571

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（第三者割当による新株式発行）

当社は、2026年２月12日開催の取締役会決議に基づき、2026年３月３日付で第三者割当による新株式発行を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ429,000千円増加いたしました。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末において資本金が1,011,253千円、資本剰余金が1,050,109千円となっております。

（自己株式の取得）

当社は、2026年４月16日開催の取締役会において、当社普通株式80,000株、取得価額の総額31,120千円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第３四半期連結累計期間において当社普通株式75,000株を29,175千円で取得いたしました。また、2026年５月21日開催の取締役会において、当社普通株式410,000株、取得価額の総額120,000千円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第３四半期連結累計期間において当社普通株式309,300株を119,982千円で取得いたしました。さらに、2026年８月25日開催の取締役会において、当社普通株式140,000株、取得価額の総額52,500千円を上限とした自己株式の取得を決議し、当第３四半期連結累計期間において当社普通株式140,000株を52,500千円で取得いたしました。

この自己株式の取得等により、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が192,352千円となっております。

（会計上の見積りの変更）

株主優待制度の対応に要する費用については、従来株主優待券が利用された時点で販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、今後必要と見込まれる金額を合理的に見積ることが可能となったため、第２四半期連結会計期間より当該金額を株主優待引当金として計上しております。

この変更により、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,479千円減少しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	81,610千円	176,786千円
のれんの償却額	50,243千円	54,374千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、システム開発事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。